



2022年5月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ゼ ネ ラ ル ・ オ イ ス タ ー  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 吉 田 秀 則  
(コード 3224 東証グロース)  
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 芝 田 茂 樹  
(TEL. 03-6667-6606)

## 特別利益の計上及び2022年3月期連結業績と前期業績

### との差異に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第4四半期連結会計期間の業績につきまして、特別利益を計上いたしますので、下記の通りお知らせいたします。また、2022年3月期累計期間の業績につきまして、前期実績値との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別利益の発生及びその内容

当社は、2022年3月期第4四半期連結会計期間において、「まん延防止等重点措置」等による店舗施設の時短営業に伴う協力金 92 百万円及びその他雇用調整助成金等 7 百万円を補助金収入として、合計 99 百万円を特別利益に計上しました。

この結果、2022年3月期累計の助成金収入による特別利益は 625 百万円となりました。

#### 2. 連結業績と前期実績との差異について

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前期実績(A) (2021年3月期)	2,338	△359	△367	△641	△218.59
当期実績(B) (2022年3月期)	2,539	△283	△288	287	82.25
増減額 (B)－(A)	+201	+76	+79	+928	+300.84
増減率 (%)	+8.6	—	—	—	—

### 3. 差異の理由について

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が前期に比べて小さかったことに加えて、加工の受託事業を開始したことから、増収となりました。

営業利益、経常利益につきましては、モバイルオーダー等の導入により、少人数による店舗運営体制を構築したことで、アルバイト等の人件費等を削減できたことから、赤字額が減少しました。また、親会社に帰属する当期純利益については、前期は加工工場の減損損失を410百万円計上したことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金等の補助金収入が511百万円増加したことにより、収支を大幅に改善することができました。

以上